

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 小櫃 市郎（清流クラブ） 1 ユネスコ無形文化遺産登録 2 龍勢まつりの国指定文化財登録の見込み 3 市民会館・本庁舎竣工式典 4 市長2期目の実績、今後の課題	⑥ 江田 治雄（市民の会・絆） 1 地球温暖化対策について今後の取組 2 有害鳥獣問題の抜本的な対策	⑪ 大久保 進（公明党） 1 災害時におけるマンホールトイレ設置 2 美の山観光道路の不法投棄 3 小型家電回収の現状
② 新井 重一郎（清流クラブ） 1 秩父市「生涯活躍のまち」実現に向けて 2 市の企業誘致の基本的考え方 3 全国学テから見た秩父市子供の基礎学力 4 モデル校！CT活用の現状と評価	⑦ 福井 貴代（公明党） 1 コミュニティ・スクールの導入 2 地域公共交通の充実	⑫ 浅海 忠（市民の会・絆） 1 大滝三峰地域の交通渋滞対策 2 インターネット・携帯電話通信網の現状 3 公務員採用試験 多様な才能ある職員を 4 公共常設駐輪場を西武秩父・御花畑駅に
③ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 地場雇用創出に向けた製造業振興 2 秩父市本町・中町まちづくり計画 3 産前・産後サポートの充実 4 財政健全化条例の制定	⑧ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団） 1 18歳までの医療費の無料化 2 通級指導教室の充実 3 子どもの虐待を防ぐ対策	⑬ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団） 1 子どもの貧困対策 2 障がい者（児）にやさしいまちづくり 3 くらしと行政の対応 4 太陽光発電設置
④ 五野上 茂次（清流クラブ） 1 環境・衛生政策 2 野外活動センター・県立秩父東高跡地 3 市立小・中学校トイレ 4 教育環境の整備	⑨ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団） 1 国保制度の広域化で保険税はどうなる 2 市役所本庁舎・市民会館の定礎プレート 3 交通弱者対策と原谷線延伸要望	⑭ 清野 和彦 1 秩父市の財政運営・公共施設整備基金 2 いのちを守る防災・減災の取組みの強化 3 地域の産業を守る公契約条例の制定
⑤ 高野 宏（清流クラブ） 1 防犯・防災政策 2 伝統芸能・文化継承 3 IoTの活用 4 市と町会の連携	⑩ 金崎 昌之 1 住宅耐震補強工事補助制度の拡充 2 道路維持課分室組織の充実・強化 3 緊急通報システムの有効活用 4 秩父市立民俗博物館の復館を	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 小櫃 市郎
おひつ いちみつ

●伝統芸能・文化伝承施策

問 ユネスコ無形文化遺産登録後の秩父夜祭の取組みは。

答 12月1日の午前2時2分に秩父祭を含めた「山・鉾・屋台行事」33件がユネスコ無形文化遺産に決定した。今後は、観光担当局と連携して祭りの魅力を世界に向けて発信していくとともに、先人たちから受け継がれてきた秩父祭を後世に伝えていきたい。関係者をはじめ市民の皆さんが世界の祭りとして秩父祭を守る責任と誇りを持つてよう、文化財保護意識の向上に努めていく。

問 棕神社の龍勢の国指定文化財に向けた現状と指定の見込みは。

答 25年度から27年度の3年間で、国の補助金を受けて総合調査を実施し、調査報告書をすでに文化庁へ提出している。約500ページにわたる報告書は、龍勢の歴史、現状が克明に記録され、大変すばらしいと評価をいただいた。文化庁伝統文化課に早期に文化審議会に諮問していただけるよう働きかけを行っている。

●市民会館・本庁舎竣工式典

問 市民の皆さまにお知らせする完成披露の式典の内容は。

答 完成式典は3月26日に開催する予定である。式典では、ゆるキャラによる出迎え、秩父屋台ばやしによるオープニング、施設の概要説明や寄贈いただいた緞帳などの披露、市政に功労のあった方々への表彰を行い、観光大使である林家たい平師匠に登場いただきたく交渉を進めている。詳細が決定次第、市報などを通じ、早期に案内する。



祝！ユネスコ無形文化遺産登録

一般質問

「生涯活躍のまち (秩父版CCRC)」 の実現に向けて

清流クラブ 新井重一郎
あらいしゅういちろう



問 この一年間における具体的な取組みとその成果は。

答 今年7・8月に豊島区の公募区民約50名が参加する「地方居住を考えるワークショップ」を豊島区との共催で実施した。また、秩父市内を巡るツアーやシンポジウムでの意見交換会などを計4回行った。今週末には総仕上げとしてパネルディスカッションとこれまでの意見交換を基にした「政策提案書」が発表される。

問 秩父市民への広報と啓蒙、理解を得る取組みは。

答 広く市民の意見を求めるためパブリックコメントを実施。また、情報提供として「生涯活躍のまち」とはどのようなものかを市報10月号で紹介し、続く11月号で「生涯現役で活力あるまち」というテーマで市長コラムを掲載した。12月号では、7・8月に実施した市民への「移住・交流に関するアンケート」の結果を掲載する。さらに来年度には、生涯活躍のまちの先進事例視察のための市民向けバスツアーを計画している。

問 住居形態および経営方式は、空き家や市営住宅などの既存

ストックを活用し幅広い年代と所得階層の人々が利用できるようにする。更に、お試し居住できる住居整備や二地域居住も考える。具体的経営方式は秩父市生涯活躍のまちづくり基本計画に盛り込む。例えば、サービス付高齢者住居の拠点施設建設の場合は原則として周辺インフラ整備は行政で、入居者募集や建設・運営は公募による民間事業者等と役割分担を考える。



豊島区との共催による「地方居住を考えるワークショップ」風景

◎市の企業誘致の基本的な考え方
◎基礎学力の向上と定着
◎モデル校のICT活用の評価

地場雇用創出に向けた 製造業振興について

清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき



問 雇用の維持創出に向け、現状の既存地場企業への具体的支援は。

答 産学官連携コーディネート事業および、中小企業応援プロジェクト事業を鋭意取り組んでいる。

問 人材育成の観点で地場企業に勤める従業員の技能資格認定取得等にかかる費用を助成する考えは。

答 技能資格認定種類が多岐に渡るため、継続して研究していく。

問 過日締結した「ものづくり大学との連携協力協定」について、産業振興における具体的な施策は。

答 今後、地元企業の意見を聞きながら、具体的な連携内容について検討していく。

●本町・中町まちづくり計画

問 現在進められている本町・中町中央線整備状況と今後の計画は。

答 28年度末で約70%の用地取得が見込まれ、30年度、本町地区から本工事に着手する予定。

●産前・産後サポート

問 秩父版ネウボラ(産前・産後サポート)の充実に向けた進捗は。

答 市役所女性職員14名で構成される研究会議からの報告を受け、



「産前・産後サポート」の充実で子育ての街

全庁的に検証している段階である。

問 助産師における母乳ケアに対し、助成していく考えは。

答 近隣自治体の状況を参考に、市として最善となる支援体制を前向きに検討していく。

●「財政健全化条例」の制定

問 既に、先進自治体で制定が進んでいる「財政健全化条例」について制定する考えは。

答 将来にわたって、更なる安定した財政運営の確保を考慮し、既に条例制定した先進自治体を参考に制定する方向で検討していく。

一般質問

環境・衛生政策

●下水道事業の将来的なビジョン

問 現状、下水道の普及していない地域として主に久那・高篠・黒谷地区がある。将来的な展望は。

答 「秩父市下水道事業計画」に基づき事業を進めており、全体計画の1438ヘクタール（主に影森・中央・大野原・高篠・黒谷地区）のうち、事業計画区域の1088ヘクタール（黒谷と横瀬川より東側の高篠地区を除いた部分）において、国の事業認可を受け、事業を進めている。下水道の普及は、生活環境改善に向けて重要な施策であり、整備の方向性が確定した段階で、周知を図っていく。

●市立小中学校のトイレ

問 今回、市立小学校のトイレについて調査を行ったところ、洋式化率は60・6％であり、洋式が主流の家庭トイレと比べ、洋式化が遅れていることに大変おどろいている。児童たちにとって大切な日常生活の一部となる学校のトイレについてどう考えているのか。

答 小中学校を合わせた洋式化率は埼玉県全体が44％、秩父市は

清流クラブ 五野上茂次

このかみ しげし



58％となっている。小中学生のほとんどが家庭では洋式トイレを使用していると思われるので、計画的に洋式化を推進していく。

●教育環境の整備

問 大田中学校校舎の外壁は建て替え以降、手が加えられておらず、学習環境としてふさわしい状況はないと思うが、改修の予定は。

答 新耐震基準以降に建築された校舎であり、改修工事を行っていない。計画的に改修を実施する。



大田中学校校舎

◎野外活動センター
◎県立秩父東高等学校跡地

清流クラブ政策提言より

●防犯・防災政策

問 子どもや高齢者の防犯対策の取り組みは。

答 子どもや高齢者を犯罪から守る施策として、防災行政無線や、「安心・安全メール」を活用し、犯罪情報の周知を図っており、市が主体となり、犯罪に対し町会・消防団・警察・消防署・学校が、協力しあって迅速な対応ができるよう行っている。特に、近年増加している「子どもに対する声かけ事案」に対しては、警察や学校からの情報を発信し、注意喚起を行い、自主防災・防犯組織によるパトロールや、各町会に「地域における見守り」をお願いしている。セーフコミュニティ活動の推進による、地域の「目」による監視力を高め、防犯灯の設置を進め、夜間や通学時間帯の犯罪を未然防止したいと考えている。

問 防災施策、雪害への対応、「地域ボランティア除雪隊報奨金制度」と市から町会に貸与された「小型除雪機」の運用については。

答 雪害の対応について、市街地の町会では、雪置き場の確保に苦慮している状況から太平洋セメン

清流クラブ 高野

たかの



ひろし 宏

トに協力いただき、旧秩父セメント跡地を利用出来る。「地域ボランティア除雪隊報奨金制度」は、重機・車両・雪置き場が対象で、人力による除雪作業は対象ではないが、今後、各町会の意見もいただき検討していく。「小型除雪機」の維持・管理経費は、燃料代、修理代、損害保険料等が町会負担となるが、除雪隊報奨金制度の対象であり、活用いただける。



町会に貸与された小型除雪機

◎伝統芸能・文化継承について
◎IoTの活用について
◎市と町会の連携について

一般質問

市民の会・絆 政策提言より



市民の会・絆 **江田 治雄**
えだ はるお

●地球温暖化防止対策

問 市では環境立市推進課がその任に当たっており、太陽光発電設備の補助制度や天ぷら油を再生し、バイオ燃料事業等が進められている。二酸化炭素削減は各家庭の節電も大きな力を握っていると思われるが、家庭の冷蔵庫・エアコン・テレビ等の買い替えの際にサイクル券購入の補助金制度ができないか。

答 10年以上経過した冷蔵庫、エアコン、テレビ等の家電は消費電力が現在の新しい物の倍以上と言われており、この買い換えに対し一部の補助を検討している。また、古い家電製品を使い続けることが、地球温暖化の原因になることを市民に向けてアピールしていきたい。

●有害鳥獣被害の抜本的な対策は

問 統計上は被害面積、金額が減っているとの報告である。市民は諦め申しない。最近では旧市内の住宅地までサルやシカが目撃されている。秩父地域全域で個体数が増えていると思われる。ここまで放置して来た国の責任もあり、

支援策を国に求めたらどうか。

答 未だに捕獲だけに頼り被害が増加している地区もある。総合的な取り組みを地域住民が主体となつて実施できるように推進していく。また、鳥獣被害の拡大は初期段階の何らかの兆候を見落とし、有効な手立てを打たなかったことが要因である場合も多い。今後、地域住民とともに対策を推進し、地元選出の県議、国会議員を通じて国の支援策も活用できるように訴えていく。



住宅地まで進出してきたイノシシ

コミュニティ・スクールの導入



公明党 **福井 貴代**
ふくい たかよ

●コミュニティ・スクールは公立学校の運営に対し、保護者や地域住民に積極的に関わっていただくこととする仕組みであり、学校運営協議会が設置されている学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいる。導入した多くの学校の校長が、学校が活発化し効果があつたと答えている。導入には、教育委員会からの指定が必要となるが、導入に対する教育長のお考えは。

答 教育委員会および市長主催の総合教育会議で議論。導入する方向で取り組む。学校と地域の良好な関係を生かし、コミュニティ・スクールの導入で、より地域の力を学校運営や、教育活動に生かしていく「秩父市版地域とともにある学校」をめざす。

●地域公共交通の充実

問 交通事故に占める高齢ドライバーの割合は非常に高くなっている。対策は急務である。「高齢者が車を運転しなくてもよい暮らしの実現にむけて」地域公共交通を充実させるとともに、運転免許返納サポート事業の充実等、自主返

納を促す取り組みについて見解は。

答 西武観光バス12路線の内、9路線が補助対象路線で、補助金総額は約8160万円。その他、市営バス2路線の運航と乗り合いタクシー運行に関わる経費負担が約2千万円。経費負担増は懸念されるが地域の移動手段として確保しなければならぬ。持続可能な公共交通を目指し取り組む。免許返納サポート事業については、今後自主返納への機運も高まるものと推察され、改善を検討していく。



秩父地域ルートマップ



コミュニティ・スクールを紹介するパンフレット